

競 技 注 意 事 項

本大会は、２０２６年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

１ 練習について

練習は、補助競技場および雨天練習場（使用方法について下記参照）を原則とする。補助競技場では道具（マーカー、ミニハードル、ラダー等）を使用した練習はできない。メディシングボールについては、競技場周辺で使うことができるが、安全に注意すること。投てき競技（円盤投、ジャベリックスロー）の練習については、競技開始前にメイン競技場を使うことができる。練習する際には、現地の審判員の指示に従って行うこと。

なお、本大会は多目的広場が使用できないため、競技前の練習（ウォーミングアップ）は投てき種目を含めて、安全に留意して実施すること。

【練習会場】

(1) メイン競技場

- ① トラックのみ利用を認める、ただし、競技の準備を優先とする。
- ② 利用時間は、開場から競技開始３０分前までとする。
- ③ 設置しているハードルを利用した練習は認めるが、ハードルの移動は認めない。
- ④ 個人の練習道具（マーカー、ミニハードル、ラダー等）を使用した練習は禁止とする。
- ⑤ レーンの使用については以下の通りである。
 - ア) １～２レーンは周回練習のみ使用可とする。
 - イ) ３～４レーンは短距離練習のみ使用可とする。
 - ウ) ３００ｍＨの練習は、スタートからバックスタンド前及び第３コーナーまでとし、女子は８レーン、男子は９レーンを利用すること。また、ハードルは３台までとする。
 - エ) １００ｍＨ・１１０ｍＨの練習はホームストレート側のみとし、１００ｍＨは８レーン・１１０ｍＨは９レーンを利用すること。
 - オ) ブロックを利用した練習は、１００ｍスタート付近の５～７レーン、第１曲走路の５～６レーンとする。
- ⑦ 投てき種目（男女円盤投・男女ジャベリックスロー）については、招集完了後、練習できる。

(2) 補助競技場

- ① レーンの使用については以下の通りである。
 - ア) １～２レーンは、周回練習のみ使用可とする。
 - イ) ３～４レーンは、短距離練習のみ使用可とする。
 - ウ) ブロックを使用するスタート練習は多目的広場側直走路５～１１レーンのみとする。
 - エ) ハードル練習を行う場合は、多目的広場側直走路７・８レーンを１００ｍＨ、１０・１１レーンを１１０ｍＨとする。

< １１時３０分～１３時００分 >

５	５	スタートダッシュ・スプリント練習
６	６	スタートダッシュ・スプリント練習
７	７	スタートダッシュ・スプリント練習
８	８	スタートダッシュ・スプリント練習
９	９	×
１０	１０	１００ｍＹＨ(0.762m_8.5m)
１１	１１	１００ｍＹＨ(0.762m_8.5m)

< １３時３０分～１５時００分 >

５	５	スタートダッシュ・スプリント練習
６	６	スタートダッシュ・スプリント練習
７	７	１００ｍＹＨ(0.762m_8.5m)
８	８	１００ｍＹＨ(0.762m_8.5m)
９	９	×
１０		１１０ｍＪＨ(0.991m_9.14m)
１１		１１０ｍＪＨ(0.991m_9.14m)

オ) 第1曲走路からバックストレート及び第3曲走路の5レーンは女子300mH、6レーンは男子300mHとする。ハードルは3台まで設置する。

- ② 個人の練習道具（マーカー、ミニハードル、ラダー等）を使用した練習は禁止とする。
- ③ 投てき競技で、回転投法ではない砲丸投の練習は、トラック外側の砲丸投ピットで行うことができる。また、投てき物を持たない基本練習を行うことができる。なお、練習の際は、係員の指示に従うこと。

(3) 雨天練習場

- ① 雨天練習場でのピストルの使用は禁止する。
- ② 雨天練習場へは、第2ゲート側の入り口より入場することができる。第3ゲートからの入退場は禁止する。
- ③ シート・マット等を敷いて独占的な使用をすることを絶対にしない。
- ④ ウォーキング・ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動きづくり程度の練習は行ってもよいが、それ以外の練習は、他の練習会場で行うこと。
- ⑤ ウォーキング・ジョギング等は、左回りとし、逆走はしない。
- ⑥ ハードルは使用できない。
- ⑦ 個人の練習道具（マーカー、ミニハードル、ラダー等）を使用した練習は禁止とする。

2 スパイクシューズ等の制限について

全天候競技場であるため、スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。

3 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは指定された数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背につけること。ただし、跳躍競技（走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳）に出場する選手はどちらか一方でもよい。
- (2) トラック競技に出場する選手は、主催者が準備した腰ナンバー標識を必ずパンツの右横やや後方につけること。
- (3) 3000mは別ナンバーカードを使用する。別ナンバーカードは招集所で配布する。

4 選手招集について

- (1) 選手招集場所は、第2ゲート付近とする。
- (2) 選手招集開始時刻・完了時刻は、競技時間を確認すること。
 - ※1：棒高跳・円盤投・ジャベリックスローは現地で招集を行う。
 - ※2：参加人数の多い種目については、段階的に招集を行う。競技時間に記載している招集開始時刻、招集完了時刻を確認すること。
- (3) 招集完了時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
- (4) 2種目を同時に兼ねて出場する選手は、あらかじめ競技者係に申し出ること。

5 競技について

- (1) 競技順は、プログラム記載の番号順とする。
- (2) その競技をする選手以外は、トラックおよびフィールド内に立ち入ることはできない。
- (3) トラック競技において、同記録者がでた場合は、写真判定主任により写真を拡大し細部（電気時計1/1000）まで読み取り、着差の判定をする。
- (4) トラック競技のスタートについては、下記のとおりとする。

「不正スタートについては、各レースでの不正スタートは1回目からすべて失格とする。」
- (5) TR16.5（不適切行為）が認められた場合は、審判長の判断により「イエローカード」が出されることがある。同じ競技会の中で2度の規則違反があった場合は失格となる。

- (6) スターターの合図は英語とする。(「On your marks」、「Set」)
- (7) 短距離走では選手の安全のため、決勝線到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- (8) レーンで行う競技種目で棄権者があった場合は、そのレーンをあける。
- (9) 競技場内での跳躍、投てきの練習は、審判員の指示によって行う。
- (10) トラック種目はすべてタイムレース決勝とする。
- (11) フィールド種目は3回試技とする。
- (12) U18 男子 300mH(0.838m/35.0m/7H) は2レース実施する。
- (13) U16 都道府県代表選手枠種目は、予選・決勝を行うが、1000mはタイムレース決勝とする。
- (14) 選手は、携帯電話等の通信機器・ビデオ・デジタルカメラ等を競技エリア内に持ち込むことはできない。コーチエリア付近(エリア指定あり)で選手に手渡して映像を見せることができる。選手が指定エリア外に機器等を持ち込むことはできない。なお、メインスタンドから撮影機器を手渡しすることは禁止とする。コーチエリアでのコミュニケーションが終了したら、速やかにコーチエリアから出ることを。
- (15) フィールド競技における競技中の選手への水分の差し入れは、競技該当審判員を通じて選手に手渡すことができる。

6 競技用具について

- (1) 競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使わなければならない。個人所有のボールの検査は最終点呼時に跳躍審判が行う。
- (2) 練習用としても、個人の用具を競技場に持ち込んで서는ならない。

7 競技場への入退場について

種目別入退場口は下記の通りとする。各ゲートへは競技場外周を利用して移動すること。

第1ゲート：第1・2コーナー付近からスタートするトラック競技

第2ゲート：棒高跳・投てき競技

第3ゲート：走高跳

第4ゲート：100m付近からスタートするトラック競技および150m、1000m、走幅跳、三段跳

8 跳躍競技について

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方については、下記の通りである。

		練習			
走高跳	U18男子	150	155～180cmまで5cm刻み	180cm以降3cm刻み	195cm以降2cm刻み
	U18女子	125	130～150cmまで5cm刻み	150cm以降3cm刻み	165cm以降2cm刻み
	U16男子	125	130～170cmまで5cm刻み	170cm以降3cm刻み	188cm以降2cm刻み
	U16女子	110	115～135cmまで5cm刻み	135cm以降3cm刻み	150cm以降2cm刻み
棒高跳	男子	231	251～340まで20cm刻み	341cm以降10cm刻み	
	女子	181	201～241まで20cm刻み	241cm以降10cm刻み	

- (2) 三段跳の踏切位置は、男子11m00 女子9m00 とする。

9 その他

- (1) やむを得ず棄権するときは、競技者係まで必ず届け出ること。
- (2) 応急処置を要する健康上の問題が発生したときは、スタンド下の救護室に連絡すること。
- (3) 更衣室については、大会受付後方スタンド内通路を入れて右側にあるので利用してもよい。
- (4) 記録は、記録の掲示については、競技終了後、大型映像で表示する。競技場メインスタンド下、正面玄関付近での記録掲示は行わない。なお、記録速報を愛媛陸協HPから確認できる。

<愛媛陸協選考基準（U16 都道府県代表選手枠種目）>

U16 都道府県代表選手の選考基準は以下の通りとする。

- (1) 本記録会に参加（エントリーを含む）した、2011 年 1 月 1 日から 2014 年 4 月 1 日の間に生まれた競技者から県代表選手 1 名を選考する。
- (2) 本大会における最上位者を優先する。ただし、本大会までの公認記録が本大会の最上位者の公認記録を上回る選手がいた場合は、愛媛陸協強化委員と育成委員からなる選考委員会で決定する。
- (3) 推薦した選手が辞退した場合は、2 番目以降の候補選手が繰り上がるものとする。
- (4) 代表選手については、選考会終了後、当該所属長宛に連絡する。